



薩摩川内市



東部区域 観光振興ビジョン

～ 4つの地域で体感するしあわせの^{カルテット}四重奏! ～



東部区域 観光振興ビジョン



*** 目次 ***

第1章 計画の趣旨	1-1
1.1 ビジョンの方向性	1-1
1.2 計画の目的	1-2
第2章 観光の動向	2-1
2.1 全国の動向	2-1
2.2 ポストコロナの観光施策	2-2
2.3 鹿児島県内の観光動向	2-3
2.4 薩摩川内市の観光動向	2-4
第3章 薩摩川内市の観光の現状と課題	3-1
3.1 薩摩川内市の観光の現状	3-1
3.2 東部区域の観光の課題	3-14
3.2.1 東部区域の観光に関するアンケート調査	3-14
3.2.2 第3次総合計画（薩摩川内市）における現行と課題	3-16
3.2.3 各地区を結ぶ観光アクセス	3-17
3.2.4 観光のアセットマネジメントへの転換	3-18
3.2.5 東部区域における課題	3-19
第4章 東部区域の観光振興ビジョン策定	4-1
4.1 ビジョン策定の基本的考え方	4-1
4.2 具体的な施策	4-2
4.2.1 【Action I】多様な資源を活かしたツーリズムの推進	4-3
4.2.2 【Action II】魅力ある観光地づくりの形成	4-8
4.2.3 【Action III】観光PRの充実	4-11
4.2.4 【Action IV】官民・広域連携の強化	4-14
具体的な先行事業	4-16
4.3 ビジョン展開のステップ	4-17
第5章 推進体制	5-1
資料編	



第1章 計画の趣旨

1.1 ビジョンの方向性

現在、持続可能な開発目標（SDGs※1.1）に向けた取組みが薩摩川内市（以下、本市）でも行われており、観光分野においても、「持続可能性」を観光政策の目標に掲げる必要があります。近年、新型コロナウイルス感染症により、観光は大きな打撃を受けてきましたが、その回復においても、「持続可能性」を規範としながら、「持続可能な観光」を実現していく必要があります。

一方、持続可能な観光のためには、観光客の来往により、地域資源を疲弊・枯渇させるような一方的な地域資源消費型ではなく、また、来往者増に伴う混雑やマナー違反等、「オーバーツーリズム」への関心も高まっており、地域の現状の暮らしや自然環境などの保全に責任を持つ観光の在り方が求められています。

従来の、観光客の利便性や経済性のみを追求した観光や、自然環境保護や景観を無視した開発整備型の観光整備事業については、十分に検討配慮するとともに、むしろ、不便でも、個人が世界遺産などのニューツーリズムに求めるように、その地域の個性が一つの世界観として完成された、或いは、それを目指す地域の人々、その地域の一体感「そのもの」が希求されています。

当ビジョンを通して、何を提供し、何を伝えていきたいのかというミッションを失うことなく、これに突き進んでいくことにより、「観光」を基軸とした経済発展や、当該地域の「生業（なりわい）」を含め、守り続けることを目指します。



図 1-1 観光のミッション（使命や役割、存在意義）

※1.1) SDGs : Sustainable Development Goals

「持続可能な開発目標」の略称。「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみならず2030年までに解決していこう」という計画・目標のこと。

1.2 計画の目的

少子高齢化で成熟した社会において、交流人口の拡大や需要の創出による経済の活性化として「観光振興」が有効であるとされています。また、観光を通じて、社会に参画することにより、地域住民の自主・自立の精神や郷土愛の醸成により、地域活性化が期待されています。

このようなことから、薩摩川内市東部区域（樋脇地域・入来地域・東郷地域及び祁答院地域）の自然、歴史、文化、スポーツ、食、産業、インフラ等の各種資源を活用し、「観光」を主軸とした地域振興を図るための「東部区域観光振興ビジョン」の策定を目的とします。

また、既存計画等とも合わせた、新たな各種資源となり得る素材を洗い出すとともに、「体験型」を重視した旅行商品の提案や、各地域間のアクセシビリティや情報発信の在り方等を整理し、地域振興を図るための今後の取組み課題とその解決策を明確にします。

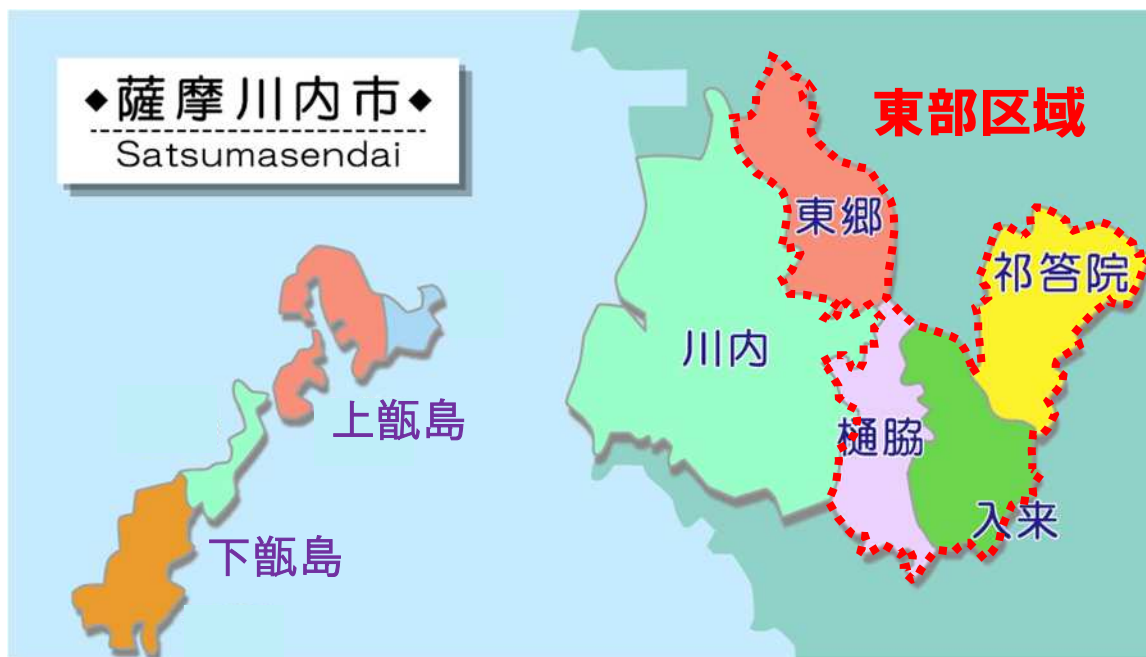


図 1-2 計画対象区域 位置図

第2章 観光の動向

2.1 全国の動向 ※2.1)

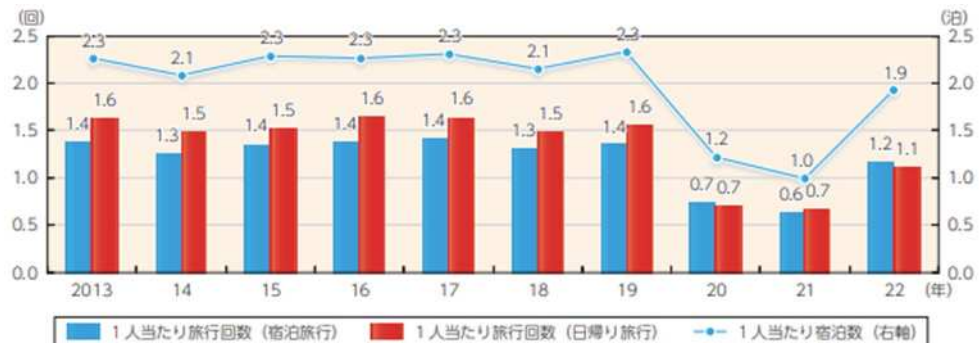
新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年から2021年にかけて国内の旅行需要は激減し、観光産業は極めて厳しい状況が続きました。一方、2022年3月のまん延防止等重点措置の全面解除、同年10月の全国旅行支援の開始や水際措置の大幅緩和により観光需要が大幅に増加するなど、観光は着実に回復しつつあります。

「ポストコロナ」の今、観光は転換期にあり、今後の観光においては、より多くの旅行者を呼び込むだけでなく、旅行者のニーズの変化や多様化を的確に捉え、持続可能な観光や消費額の拡大、地方誘客の促進といった「質」の高い観光を実現していく必要があります。また、国内外の旅行者にとって、地域に根付いた日常の「暮らし」に関わるコンテンツこそ、魅力的な非日常体験として価値が高まりつつあり、この好機を生かすことも重要です。



資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

図 2.1 日本人国内宿泊旅行述べ人数、国内日帰り旅行述べ人数の推移 ※2.2)



資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」観光・レクリエーション目的

図 2.2 日本人一人当たりの宿泊旅行、日帰り旅行の回数及び宿泊数の推移 ※2.2)

※2.1) 「令和5年版 観光白書」(令和5年8月) はじめに

<https://www.mlit.go.jp/statistics/content/001630304.pdf>

※2.2) 「令和5年版 観光白書」(令和5年8月) p.17

<https://www.mlit.go.jp/statistics/content/001630305.pdf>

2.2 ポストコロナの観光施策 ※2.3)

観光地に集積する店舗や宿泊施設等の上質化投資（質に徹底的に拘る投資）やDX化※2.4)とともに、面的な景観改善など観光地の再生・高付加価値化等に取り組むことで、個人旅行者の上質なサービス需要に対応した商品・宿泊単価等の上昇を実現し、観光従事者の賃金増加と人材確保への好循環を生み出すとともに、魅力的な景観に立地する飲食店や小売店等の新規開業や移住者の増加に繋がります。

さらに、地域に根付いた自然や文化、暮らしなど特色あるコンテンツを生かしたりリピーター化に向け、世代を超えた多様な住民と異業種の参画した「地域のストーリー」を、付加価値の高い体験型観光商品に磨き上げ、滞在魅力を高め、地域への観光消費を住民の雇用と所得、地域の税収に還元していくことが重要です。

観光地の「稼ぐ力」を高めることは、加速する少子高齢化に直面する地域社会の活性化の原動力となり得ます。観光は地域とともにあり、地域の「豊かな資源」を生かし稼ぐ「収入」を、観光産業だけではなく、広く地域の産業と住民に還元し、循環を産み出す「持続可能な観光」を、ポストコロナの成長戦略の柱、地域活性化の切り札として推進していく必要があります。

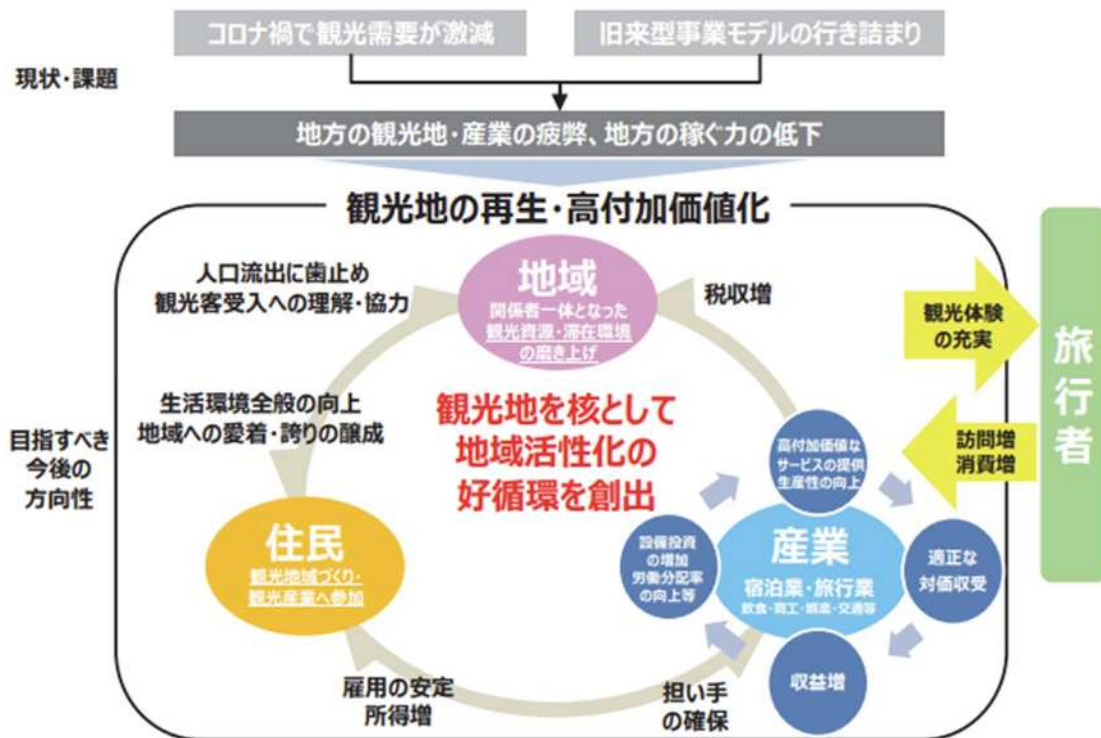


図 2.3 観光地を核とした地域活性化の好循環

※2.3) 「令和5年版 観光白書」(令和5年8月) pp.64-65 に一部追加
<https://www.mlit.go.jp/statistics/content/001630305.pdf>

※2.4) DX (Digital Transformation) : デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること。 https://monstar-lab.com/dx/about/digital_transformation/

2.3 鹿児島県内の観光動向

鹿児島県内の観光動向を把握するために、「鹿児島県観光動向調査（毎月）：鹿児島県観光・文化スポーツ部 PR 観光課」にて、ホームページ上で公開されている調査対象ホテル・旅館約 80 施設の宿泊客数（宿泊述べ人数）のデータを参考にグラフ化し、**図 2.4** に県全体の年度別観光客（宿泊客）の総数、**図 2.5** に県内の地区別観光客（宿泊客）の総数を示します。**図 2.5** では、鹿児島地区、霧島地区、指宿地区、奄美地区の順で観光客が多く、次いで大隅地区、北薩地区が並んでいるのが判ります。最も観光客が多い鹿児島地区では、明確な右肩上がりの転換期が確認されますが、その他の地区においても、緩やかな転換期が確認されています。

薩摩川内市東部区域においては、新幹線や空港道路のアクセス性を活かし、鹿児島地区、霧島地区からの観光客誘致の「ポテンシャルが高い場所」でもあり、今後の地域活性化の切り札として位置づけられる観光振興ビジョンの策定を目指します。



図 2.4 県全体の年度別観光客（宿泊客）の総数 ※2.4)

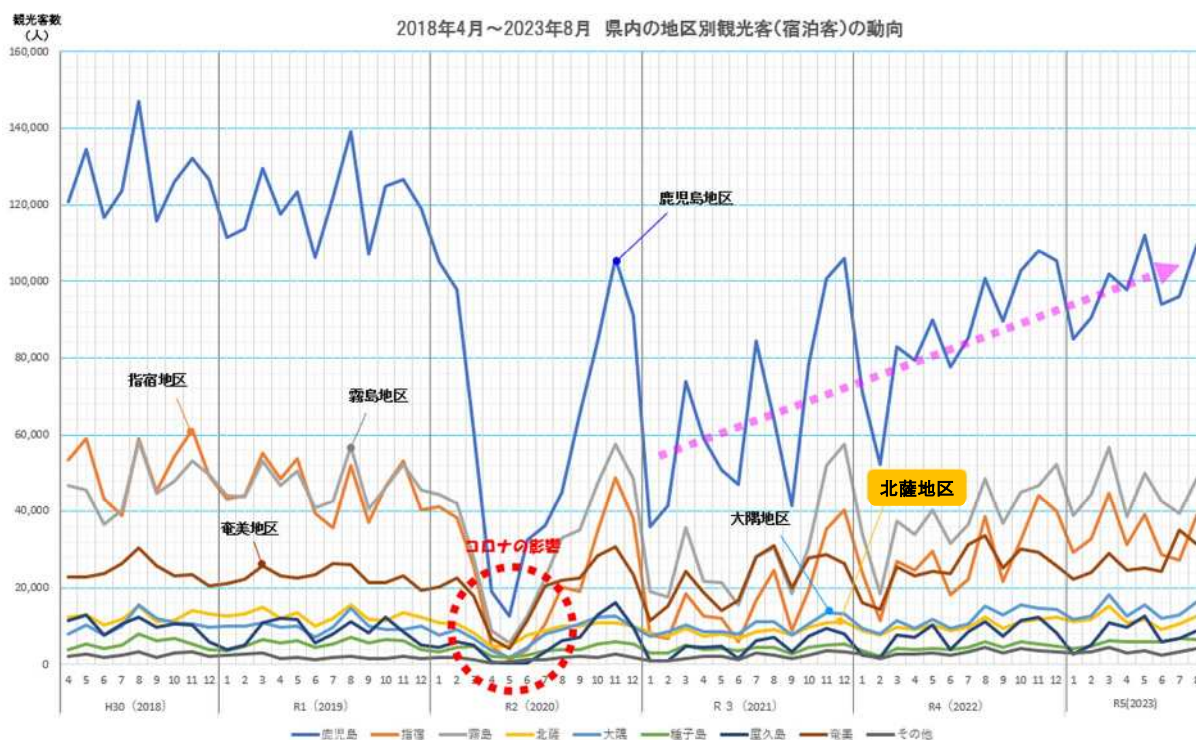


図 2.5 県内の地区別観光客（宿泊客）の動向 ※2.5)

※2.5) 「鹿児島県観光動向調査（毎月）」のデータを参考にグラフ化

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/kanko-tokusan/kanko/kankotokei/doukou/index.html>

2.4 薩摩川内市の観光動向

薩摩川内市の観光動向を把握するために、「観光物産関係統計総括表（年度別）」のデータを参考に、各地域における観光客数（日帰り・宿泊者）をグラフ化し、地区別入込客数として図 2.6 に示します。薩摩川内市の観光動向も、図 2.1 に示した全国の動向と同様に、2021 年（令和 2 年）から 2022 年（令和 3 年）にかけて激減し、同年 3 月のまん延防止等重点措置の全面解除以降、回復しつつあります。

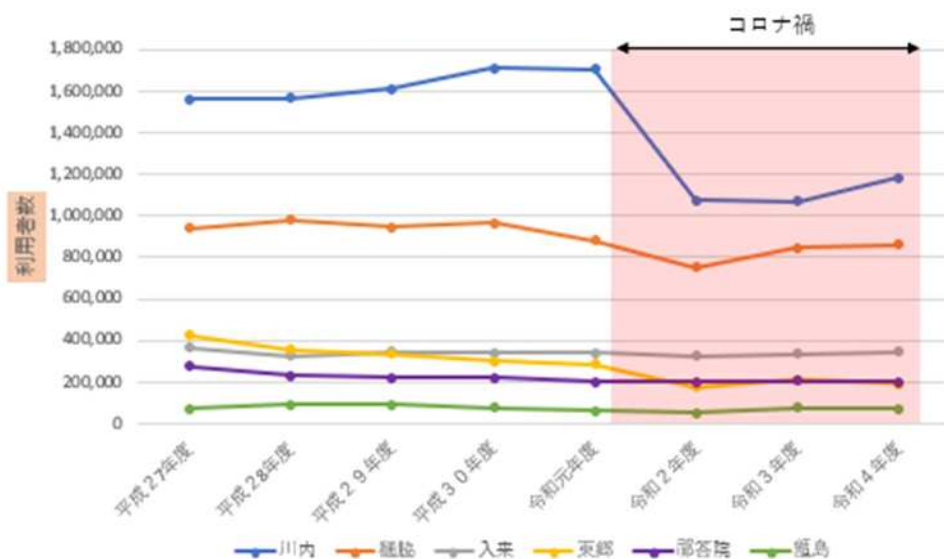


図 2.6 地域別入込客数の比較

図 2.7 には、地域別入込外国人数を示しますが、那答院地域が川内地域よりも多くなっています。（ゴルフ場や地元企業への誘致）

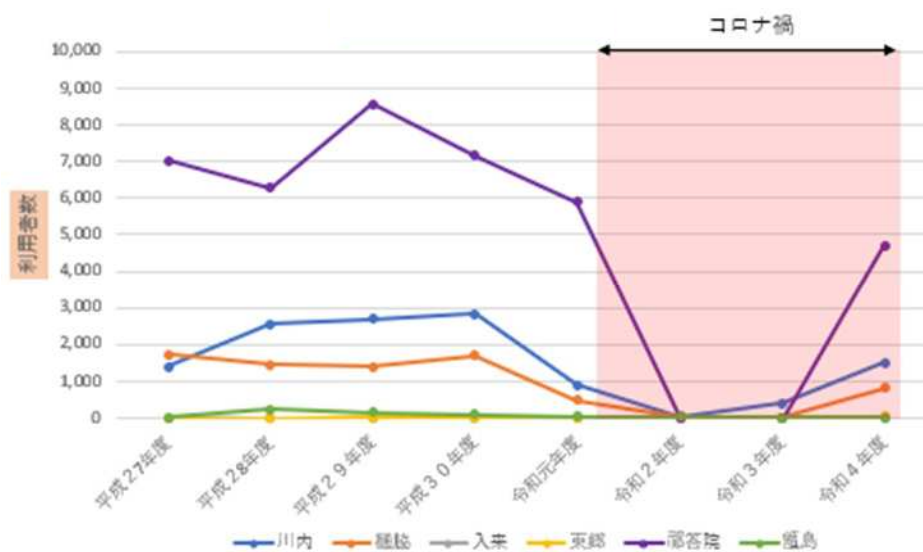


図 2.7 地域別入込外国人数の比較

第3章 薩摩川内市の観光の現状と課題

3.1 薩摩川内市の観光の現状

薩摩川内市内には、かつて薩摩国一の宮と呼ばれた「新田神社」や、新たに薩摩の武士が生きた町として日本遺産登録の認定を受けた「入来麓地区」、ラムサール条約登録湿地の「蘭牟田池」等、主要観光スポットが点在しています。

県内の主要観光都市の鹿児島市や霧島市とも隣接しており、JR九州新幹線の停車駅として、また九州自動車道や国道、県道等の主要幹線道路網の整備も進んではいますが、観光面を主体とすればマイカーやレンタカー等の依存率が高く、特に東部区域へのアクセス性については公共交通網に乏しい現状下です。



新田神社 (川内地域)



甲冑工房 丸武 (川内地域)



市比野温泉 (樋脇地域)



武家屋敷群 入来麓 (入来地域)



藤川天神 (東郷地域)



ラムサール登録の蘭牟田池 (祁答院地域)

写真 3-1 薩摩川内市の主要観光スポット

薩摩川内市では、2023年7月に改訂された以下に示す「薩摩川内市観光ガイドブック」※3.1)を用いて市内の観光スポットや名物・名産品が紹介されています。



図 3-1 薩摩川内市観光ガイドブック 【川内地域】 ※3.1)

※3.1) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.4より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>


 につたじんじゅ/えのさんりょう
新田神社／可愛山陵
 ☎ 0996-22-4722 (MAP-D4)
 🏠 宮内町1935-2 🗺️ 社拝観要予約 📅 年中無休

新田神社は、神亀山(しんきさん)の山頂にあり、天照大神の孫にあたるニニギノミコをまつる神社です。かつて、薩摩国一の宮と呼ばれた風格を今でも残しています。6月の御田植祭で奉納される舞踊り、奴踊りは県の無形民俗文化財に指定されています。また、可愛山陵は神代三山陵の一つにあげられ、明治7(1874)年7月にニニギノミコの墳墓と指定され宮内庁直轄で管理されています。

可愛山陵  御田植祭 






 エスエスプラザせんだい ☎ 0996-27-8455 (MAP-D4)
SSプラザせんだい 🏠 平佐1-18 📅 第3日曜(祝日の場合は翌平日)※保守点検等のため臨時に休館する場合があります。

コンサートや展示会など様々な用途に対応できるコンベンション施設です。最大1,000人収容可能な多目的ホールや11もの大小会議室、キッチン、子育てなどを支援する市民サポートセンターもあります。九州新幹線の停車駅である川内駅から直結、雨の日のイベントでも安心。2階テラスからは間近に新幹線を眺めることもできます。川内駅コンベンションパークはカフェやホテルが併設され、多くの方々の交流拠点となっています。

川内駅平佐1号車口から徒歩1分のコンベンション施設






 こうそくせんターミナル
高速船ターミナル P WC
 ☎ 0996-41-5100 (MAP-A3)
 🏠 港町京泊6131-23
 📅 8:00 ~ 18:30
 📅 年中無休

デザインは、九州新幹線や高速船観島と同様、水戸岡鋭治氏。館内は木をふんだんに使用した落ち着いた雰囲気とオシャレな空間。観島への旅行を前にワクワクさせてくれる。乗船券売り場のほか、カフェもあります。




 えきいち さつませんだい
駅市 薩摩川内 P WC
 ☎ 0996-20-7800 (MAP-D4)
 🏠 鳥追町1-1 川内駅西口1階
 📅 9:00 ~ 19:00
 📅 年中無休

観島地域・本土地域を問わず薩摩川内市内全域から自慢の逸品が集まるお店です。伝統の品から新しい挑戦の品まで、お客様の五感に響く品々を心ゆくまでご堪能ください。

駅市 薩摩川内は、メイドイン薩摩川内の集まる場所




 せんだいえきかんこうあんないしょ
川内駅観光案内所 P WC
 ☎ 0996-23-9889 (MAP-D4)
 🏠 鳥追町1-1 川内駅西口2階

川内駅2階の改札口前に観光案内カウンター、向田口(西口)側に本店があります。市内観光案内や電動自転車のレンタルも行っています。

薩摩川内市の観光情報なら、なんでもおまかせ！



*住所は全て鹿児島県薩摩川内市

 見て楽しむ スポット
  体験して楽しむ スポット
  買い物で楽しむ スポット

図3-2 薩摩川内市観光ガイドブック 【川内地域】※3.2)

※3.2) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.5より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>

川内エリア

からはまかいすいよくじょう

唐浜海水浴場

P WC



薩摩川内市街地の北西部に位置する唐浜海水浴場は、快晴の日は海上のかなたに飯島を望みます。遠浅で、白砂浜が約2kmに渡って広がる美しい海岸です。

☎ **0996-22-1866** (全原簿保持)

📍 網津町唐浜

🕒 海水浴場 / 7月中旬～8月下旬
平日9:00～17:00
土日祝日9:00～18:00

MAP-A3

にしかたかいすいよくじょう

西方海水浴場

P WC



国道3号沿いにある海水浴場で、奇岩の多い海岸線の眺めが抜群です。交通の便が良く、近くに奇岩「人形岩」があります。

☎ **090-7926-2720**
(西方海水浴場振興会)

📍 西方町下町

🕒 海水浴場 / 7月中旬～8月下旬
平日9:00～17:00
土日祝日9:00～18:00

MAP-B2

にんぎょういわ

人形岩

P



国道3号沿いの西方海岸にある奇岩で、人形岩の向こうに夕日が沈みゆく様子は、川内随一の絶景。岩と砂浜が織りなす西方海岸の風景も素晴らしい眺めです。その形からいろいろな伝説が語り継がれています。

☎ **0996-23-9889**
(川内観光光案内所)

📍 西方町

MAP-B2

せんだいなきあみせん

川内高城温泉

湯田町



800年余りの古い歴史を誇り、西郷隆盛も愛用したレトロで人情味あふれる温泉郷です。ゆっくり湯治するには絶好の場所。旅館によっては自炊部屋もあります。湯量豊富、泉質優秀な温泉は他に類を見ないと言われ、1990年には「日本の名湯百選」にも選ばれ、県下でも有名な湯治湯として知られています。

☎ **0996-26-3113**

📍 湯島町3535番地7

🕒 9:00～17:00
年中無休

MAP-A4

かっちろうこうぼうまるたけ

甲冑工房丸武

P WC



2018年7月よりリニューアルオープン。映画や大河ドラマ、メジャーリーグのホームランセレブレーションなどに使われている甲冑(鎧・兜)の展示やその製造工程も見ることができます。このほかにもお食事処や戦国グッズを扱ったお土産処などもあります。

☎ **0996-26-3113**

📍 湯島町3535番地7

🕒 9:00～17:00
年中無休

MAP-A4

せんだいまごころぶんがくかん

川内まごころ文学館

P WC



川内出身の父を持つ有島兄弟。特に里見諒の文芸資料を中心に白樺派の書画等を展示。同じく川内出身の大正期のジャーナリスト・山本實彦主宰の総合雑誌「改造」に寄せられた原稿や書簡を展示。

☎ **0996-25-5580**

📍 中郷2丁目2番6号

🕒 9:00～17:00
月曜日(国民の祝日の場合は翌日休館)

MAP-D4

せんだいれきしりょうかん

川内歴史資料館

P WC



薩摩国の中心地として発展してきた川内地域における考古・歴史・民俗・美術資料を収集し、展示・収蔵しています。隣接する薩摩国分寺跡史跡公園は講堂跡や北門跡など当時の様子を復元してあります。

☎ **0996-20-2344**

📍 中郷2丁目2番6号

🕒 9:00～17:00
月曜日(国民の祝日の場合は翌日休館)
年末年始
(12月29日～1月3日)

MAP-D4

さつまいこくぶんじあとしせきこうえん

薩摩国分寺跡史跡公園

P WC



奈良時代の天平13(741)年、聖武天皇は全国に国分寺の建立を命じました。薩摩国分寺の創建は奈良時代の終わり頃とされています。1965～75年にかけて発掘調査が実施され、1985年に「薩摩国分寺跡史跡公園」として開園しました。

☎ **0996-20-2344**
(川内歴史資料館)

📍 国分寺町

MAP-D4

6

図3-3 薩摩川内市観光ガイドブック 【川内地域】※3.3)

※3.3) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.6より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>

寺山いこいの広場 P WC



標高247mの高台に位置し、眼下に雄大な川内川が流れ、遙か彼方に東シナ海に浮かぶ甌島が見渡せ、ポニー小屋や1300mのゴーカートコースなどがあります。また、市街地を展望できるカフェもあります。

☎ 0996-31-4477
(せんだい宇宙館)
📍 天辰町 2453-30

MAP-E4

せんだい宇宙館 P WC



天文台と展示施設の融合した体験型の天文施設です。九州屈指の50cm反射望遠鏡で鮮明な惑星や星雲・星団の観測ができます。また、昼間は太陽の黒点などの観測もできます。

☎ 0996-31-4477
📍 永利町2133番地6
🕒 10:00～21:00
🗓 毎週月曜日
(祝日の場合は翌日)

MAP-E4

泰平寺 P WC



和銅元(708)年元明天皇の勅令により創設されたと伝えられています。豊臣秀吉が薩摩侵攻の際島津義久と和睦を結んだ場所としても有名。また、塩大黒天の首話は、アニメ番組「日本むかしばなし」にも取り上げられました。

☎ 0996-22-4593
📍 大小路町48-37

MAP-D4

柳山アグリランド



柳山の山頂は標高389mの位置にあり、山頂にある霧島神社周辺からの眺望は360度の絶景が見渡せます。また、春は桜や菜の花、初夏はアジサイ、秋はコスモス、冬は水仙など四季折々の花が目を惹かせてくれます。

☎ 0996-20-3832
(柳山インドファーム)
📍 高江町

MAP-B5 P WC

月屋山/川内川あらし



月屋山は川内港付近の小高い山。「川内川あらし」は、寒い季節に特徴的な地形と特定の気象条件が重なった時に起きる非常に珍しい現象です。月屋山山頂から臨む雲海に浮かぶ朝日や川内川に沿って東シナ海に雲海が流れていく姿は絶景です。

☎ 0996-23-5111
(薩摩川内市役所 観光物産課)
📍 港町

MAP-B3

肥薩おれんじ鉄道



川内駅と熊本県の八代駅まで28の駅をつないで走る列車。ゆったりした空気の中、のどかな農村風景や東シナ海の雄大な景色を楽しめるローカル線です。食事をしながら旅が楽しめる「おれんじ食堂」や貸切チャーター運行の「おれんじカフェ」も人気です。

☎ 0996-63-6860

川内大綱引



毎年9月の秋分の日前日に行われ、市内はもとより、周辺地域からも多くの参加者や見物客が訪れて賑わいを見せる九州地方最大の大綱引き行事です。大綱引は、綱練り(つなねり)と本綱(ほんづな)の二つから構成され、綱練りは大綱を練り上げる作業のことで、早朝より住民総出で長さ約365メートル、直径約40センチ、重さ約7トンの大綱を練ります。本綱は、実際の大綱引きのことで、上方(赤組)と下方(白組)に分かれ、引き方の指令・伝令役となる太鼓隊、引き手となる引き隊、引き手を妨害する押し隊などの役割があります。総勢約3,000人にのぼる上半身裸の若者たちが一斉に綱を引き合い、引き手の邪魔をしようと相手陣内に押し入ろうとする押し隊同士のぶつかり合いは勇壮です。2019年3月28日に文化庁の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されました。また、この川内大綱引に青春をかける鷹(とび)の跡取りと、甌島の診療所に勤務する韓国人女性研修医との切ない恋と、その二人を取り巻く家族模様を描いた映画「大綱引の恋」が2021年5月、全国公開されました。

映画「大綱引の恋」キャスト集結!

*住所は全て鹿児島県薩摩川内市

見て楽しむ スポット 体験して楽しむ スポット 買い物で楽しむ スポット

図3-4 薩摩川内市観光ガイドブック 【川内地域】※3.4)

※3.4) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.7より追記
https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/



図 3-5 薩摩川内市観光ガイドブック 【樋脇地域】※3.5)

※3. 5) 薩摩川内観光ガイドブック（2023年7月改訂版） p.8より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>

丸山公園

0996-37-2300 (薩摩川内市民まちづくり公社)
 樋脇町塔之原12778

MAP-D3

お椀を伏せたようなまるい形の丸山は、地域のシンボル。丸山の中腹に整備された丸山公園は、サッカーやホッケーなど多目的に使える広場と遊具を備え、市内外から多くの人々が訪れています。春には桜と菜の花を一緒に見ることができる絶好の花見スポット。近くに市比野温泉や道の駅「樋脇」遊湯館(物産館)があります。

倉野磨崖仏

鎌倉末期に彫られたとされる磨崖仏は、梵字17・陽刻仏像1・陰刻五輪塔3・その他仏種子などからなっています。梵字の下に文保2年(1318年)の年号が記され、9月5日寂円房が亡親の供養とともに、村人の平安を祈願した旨が明記されています。

0996-37-3877
 樋脇町塔之原8658番地3

MAP-D1

藤本滝公園

公園内には薩摩草薮と称される「藤本滝」があります。落差30m、幅15mの2段階の滝周辺は真夏でもひんやりとしているので、近隣住民の憩いの場にもなっています。遊歩道が整備されていて、滝壺の近くまで行くことができます。

0996-38-1080
 (藤本地区コミュニティ協議会)
 樋脇町市比野

MAP-E5

市比野温泉

三方を山に囲まれた田園地帯に約10ヶ所の温泉施設が点在する温泉郷。まちを流れる樋脇川、市比野川沿いに多くの施設が集まっています。江戸時代に島津光久公が「天下の名泉」と讃え湯槽を作ったのが始まりと言われています。

0996-38-2254
 (市比野温泉地域活性化協議会)
 樋脇町市比野

MAP-D3

樋脇グラウンドゴルフ場

日本グラウンドゴルフ協会認定コースで、8コース、64ホール全面天然芝の起伏ある本格的な専用施設です。プレー道具の貸出もあり、どなたでもお気軽にご利用いただけます。

0996-37-3877
 樋脇町塔之原8658番地3

MAP-D2

樋脇サンヘルスパーク

流水プール・ループスライダー・直スライダー・幼児プールなどがあります。最長のウォーターライダーは11.2mもあり、4階建ての建物と同じ高さから一気に滑り降りるスリルはたまりません。

0996-38-1505 (期間中)
 樋脇町市比野2296-1

MAP-D3

道の駅「樋脇」遊湯館

県道川内加治木線沿いにあり、市比野温泉の入口に位置しています。観光案内所を設け、観光客の拠点となっています。リフレッシュできる足湯もあります。

0996-38-2506
 樋脇町市比野156

MAP-D3

*住所は全て鹿児島県薩摩川内市

見て楽しむスポット 体験して楽しむスポット 買い物で楽しむスポット

図3-6 薩摩川内市観光ガイドブック 【樋脇地域】※3.6)

※3.6) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.9より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>



図3-7 薩摩川内市観光ガイドブック 【入来地域】※3.7)

※3.7) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.10より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>

旧増田家住宅

☎ 0996-44-4111
📍 入来町浦之名77

🕒 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
📅 月曜日 (ただし、月曜日が休日の場合は火曜日)、12/29～翌年1/3

MAP-B2 P WC



旧増田家住宅は、国の重要文化財に指定されているかやぶき屋根の住宅です。母屋、石蔵、浴室便所、洗い場が一体的に保存されています。石蔵に保管されていた書の掛け軸は、西郷隆盛の直筆のもので確認されました。入来町の八重山で狩猟を楽しんだという逸話も伝わっており、維新の英雄の人となりを感じることが出来ます。



清色城跡

📍 島津氏の家臣、入来院氏の居城跡地



現在城址は国指定史跡として見学用の遊歩道が整備されており、外敵の侵入を防ぐ為、自然の地形を利用して築かれた堀切や、山麓には武家屋敷跡の石垣も確認できます。また居館(地頭仮屋)跡にある薩摩川内市立入来小学校の周辺には堀や石垣が残っており、城址碑が建てられています。

☎ 0996-44-5200
(入来麓観光案内所)
📍 入来町浦之名
MAP-B2

入来麓武家屋敷群

📍 中世の息吹が聞こえる薩摩武家屋敷地区を散策



入来麓地区は、四隣に威を振った薩摩藩随一の聖城(山城)である清色城を中心として川原石を使った玉石垣による整然とした区画割、武家屋敷門(茅葺門)、大手門前の濠や広馬場、下門口を備えたお飯屋跡など多くの史跡、文化財が残っており、2019年に日本遺産の認定を受けています。

☎ 0996-44-5200
(入来麓観光案内所)
📍 入来町浦之名
MAP-B2

国立天文台VERA入来観測局

📍 日本語では「天文広域精測望遠鏡」といいます



鹿児島大学入来牧場の一面に建つ、直径20mの巨大な電波望遠鏡。国立天文台水沢VLBI観測所と鹿児島大学が進めるVERAプロジェクトの一翼を担っています。

☎ 0996-21-4175
📍 入来町浦之名 4018-3
MAP-B4 P WC

長野滝

📍 入来町山中に静かに流れ落ちる神秘的な滝



岩山の切れ目から流れ落ちる美しい滝。滝壺の裏には奥深い洞穴が広がっており、流れ落ちる滝を裏から見ることが出来る裏見の滝でもあります。2018年NHK大河ドラマ「西郷どん」の撮影地にもなりました。

☎ 0996-44-5200
(入来麓観光案内所)
📍 入来町浦之名
MAP-E4

入来温泉湯之山館

📍 歴史ある入来温泉 天然掛け流しの日帰り温泉



早朝から入浴可能な公衆浴場です。男女それぞれにアゼロ湯浴槽と柴垣湯浴槽があり、また貸切浴室を1室設け、ご家族やお客の必要な方も利用可能な施設となっています。

☎ 0996-44-2301
📍 入来町副田6179
🕒 6:00～22:00
(入館は21:40まで)
📅 第1・第3月曜日、1月1日
MAP-B2

入来麓観光案内所

📍 入来麓武家屋敷群のことならなんでもおまかせ！



入来麓武家屋敷群をはじめ、薩摩川内市内各地の観光スポットのパンフレット等ご用意。お土産やお菓子の販売、各種体験プログラムの受付も行っていきます。

☎ 0996-44-5200
📍 入来町浦之名35-1
🕒 9:00～17:00
📅 年末年始 (12月29日～1月3日)
MAP-B2

*住所は全て鹿児島県薩摩川内市

👁️ 見て楽しむ スポット 🏠 体験して楽しむ スポット 🛒 買い物で楽しむ スポット

11

図3-8 薩摩川内市観光ガイドブック 【入来地域】※3.8)

※3.8) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.11より追記
https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/

- 3-9-



図3-9 薩摩川内市観光ガイドブック 【東郷地域】※3.9)

※3.9) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.12より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>

東郷文弥節人形浄瑠璃 (東郷文弥節人形浄瑠璃後援会)

0996-42-0864 (MAP-C4)

東郷町の文弥節人形浄瑠璃は、江戸時代前期頃(約1700年頃)から斧洲の三ヶ郷集落に伝承され、全国に4ヶ所だけに残されている貴重な郷土芸能です。「人形踊り」とも言われ、語り大夫・三味線・太鼓・拍子木各1名と、人形使いは、男人形を1人で、女人形は2人で操り、語りや人形の動きが素朴なのが特徴です。平成20年3月には国の重要無形民俗文化財に指定されました。




とうごう五色親水公園

0996-22-1866 (MAP-B2)

九州ベスト100にも選ばれた、川内川の支流「田海川」の川縁に広がるキャンプ場。水と照葉樹の大自然に親むこのキャンプ場は、川遊びがメインで幼い子供連れには「せせらぎ(浅瀬)」で水遊びがゆっくりできます。



藤川天神 (臥龍梅・西郷隆盛の愛犬ツン) (東郷町藤川)

0996-42-0753 (MAP-B1)

藤川天神の祭神は学問の神様として親しまれる菅原道真公で「菅原神社」とも呼ばれています。境内の約40アールの梅園には約300本の梅の木があり、このうち55株の梅はその幹を地上に伏せ、まるで伏した龍のように咲き誇ることから臥龍梅と呼ばれています。西郷隆盛の愛犬ツンの出身地ということから銅像も建立されています。




小路磨崖仏 (安土桃山時代の後白河天皇の頃より残る磨崖仏)

0996-22-7251 (MAP-B3)

東郷波谷一族の居城であった鶴ヶ岡城址の岩に彫られています。像は地上から高さ160cmで、岩面に南向きに「紅顔梨色宝冠阿弥陀座像」を刻み、この像は法界定印の印相をしているので非常に珍しいとされています。



南瀬観音古石塔群

0996-22-7251 (MAP-E4)

牛馬の神として祀られている馬頭観音。南瀬小学校の裏手にある石塔は、宝塔1基、そのほか高さ1~2m前後の角柱塔婆があり、このうち3基に永仁7年(1299年)2月の刻銘が見られます。これほどの石塔群は県内でも数少ないと言われています。



SPA HOTEL YUTTARIKAN

0996-42-2244 (MAP-D4)

SPA HOTEL YUTTARIKANは「源泉かけ流し温泉」「レストラン」「宿泊施設」「グラウンドゴルフ場」「トレーニングジム」を備えた総合施設です。



東郷フルーツ

0996-23-5111

春のイチゴに始まり、夏から秋にかけては、ブドウやナシ、冬になればミカンやキンカンなど、四季を通じて様々な品種のおいしい果物を食べることができます。中でもブドウの観光農園はおすすめ。



*住所は全て鹿児島県薩摩川内市

見えて楽しむ スポット 体験して楽しむ スポット 買い物で楽しむ スポット

図 3-10 薩摩川内市観光ガイドブック 【東郷地域】 ※3.10)

※3.10) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.13より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>



図3-11 薩摩川内市観光ガイドブック【祈答院地域】※3.11)

※3.11) 薩摩川内観光ガイドブック (2023年7月改訂版) p.14より追記
<https://satsumasendai.gr.jp/guide-documents/64706/>

3.2 東部区域の観光の課題

3.2.1 東部区域の観光に関するアンケート調査（現在、調査中）

3.2.2 第3次総合計画（薩摩川内市）における現行と課題

国定公園の甑島、ラムサール条約登録湿地である藺牟田池、新田神社・可愛山稜や日本遺産登録を受けた入来麓武家屋敷群、ユネスコ無形文化遺産のトシドン、国重要無形民俗文化財の東郷文弥節人形浄瑠璃を始め、自然、歴史、文化、スポーツ・アウトドア、イベント、食、産業、インフラ等の本市が有する魅力の発信や、グリーン・ツーリズムやきゃんぱく等により、交流人口の拡大に努めてきましたが、今後、観光の受け皿となる観光地づくりや人材育成が必要になります。

一方、本紙は2009年の観光元年宣言以降のシティセールスによる知名度は向上しましたが、今後、各種媒体や薩摩川内大使等の活用、観光DXの導入により、更なる知名度向上を図り、持続可能な地域経済社会の実現に繋げることが期待されています。

現在、地域の団体や市民による、地域の特色を活かしたイベントや滞在型体験メニューの提供が行われています。また、地域DMOでもある株式会社薩摩川内市観光物産協会の地元取引事業者数は、同協会発足以来、順調に増加していますが、より魅力ある観光地づくりを進めるためには、「シティセールスと観光物産ビジネス」に携わる団体・企業や市民が、さまざまな取組みについて「自分事」として考え、自らの役割を果たすことにより、地域経済に好循環をもたらす仕組みづくりを進化させることが出来ます。

また、市及び民間観光施設の魅力づくりを促進し、交通事業者、旅行事業者等との連携や隣接自治体や同じテーマで観光地づくりに取組む自治体や団体等との特性を活かした「広域連携」を更に進めることが必要とされています。

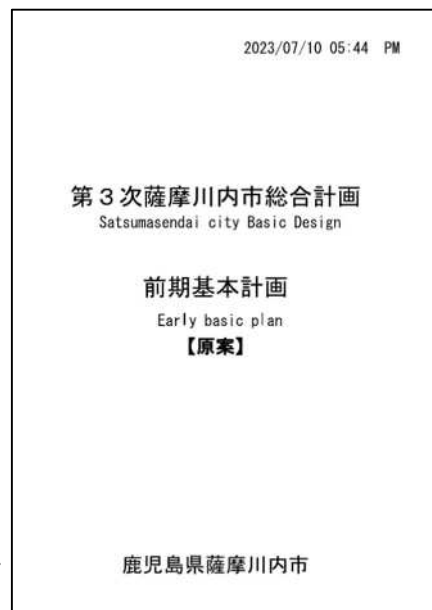


図3-13 第3次薩摩川内市総合計画（2023/07/10）

3.2.3 各地域を結ぶ観光アクセス

薩摩川内市の観光アクセスは、JR新幹線の停車駅のある川内地域以外の東部区域については公共交通網に乏しく、その殆どがマイカーやレンタカーへの依存率が高い現状化にあります。東部区域の主要観光地としては、樋脇地域では、市比野温泉や道の駅樋脇遊湯館、入来地域では入来麓武家屋敷群、清色城跡、入来温泉、東郷地域では藤川天神、とうごう五色親水公園、祁答院地域では藺牟田池、藺牟田温泉等が挙げられます。

薩摩川内市 JR川内駅から、樋脇地域、入来地域、祁答院地域へのアクセスは県道42号（空港バイパス）で連続的に繋がっていますが、特に東郷地域については図3-14に示すように、川内川で分断された上に、地形的にも分離されています。

一方、地形的に分離されている箇所には、隣接しているさつま町の主要観光地である「県立北薩広域公園」が位置していることより、川内川流域としての観光連携が期待される場所でもあります。



図 3-14 各地域を結ぶ観光アクセス図

3.2.4 観光のアセットマネジメントへの転換

当該区域にて、従来の物見遊山的な観光としては、隣接している鹿児島市や霧島市と比較して、主要観光拠点の規模や認知度で差別化されている現状です。

「ポストコロナ」の現在、自然体験型観光が人気を集めてきましたが、今後の観光は転換期を迎え、人々が街中に戻りつつある状況下で、地方誘客の促進といった「質」の高い観光を実現するためには、「地域らしさ」に拘り、「地域の宝」を再度見直し、「地域資源」を有効的に活用する「観光のアセットマネジメント」が重要です。

従来の観光とは異なり、当該地域の住民生活や方言に触れ合い、当該地域でしか体験することが出来ない、地域に根付いた日常の「暮らし」や「食」、「自然体験」等に関するコンテンツこそ、魅力的な非日常体験として価値が高まります。

また、「地域住民との触れ合い」、「コミュニケーションの向上」が、地域を元気にするとともに、生活環境全般の向上、地域への愛着・誇りの醸成、雇用の安定、所得増への期待等へ継承されるとともに、その「情報発信手法を工夫」し、観光客のリピーター率を向上させることで、「地域活性化の好循環」を目指す必要があります。



E ボート体験（蘭牟田池）



宮川朝市（岐阜県飛騨市）



さとっこあげ（祁答院地域）



製茶のおもてなしカウンター（さつま町）

写真 3-2 各地域資源の活用状況事例

3.2.5 東部区域における課題

当該区域の観光振興を目的としたSWOT分析※3.13)結果を、表3-1に示します。

表 3.1 東部区域の観光振興を目的としたSWOT分析表

内部環境：地域で調整できるもの（例えば、製品の品質や価格、人材など）	
Strength（強み）：プラス要因	Weakness（弱み）：マイナス要因
<ul style="list-style-type: none"> 地域独自の良好な自然環境や景勝地が豊富 点在する豊富な観光資源 蘭牟田池ラムサール条約登録湿地（2005年11月8日） 蘭牟田池：アウトドア体験のポテンシャルが高い 蘭牟田池：陸、池、空の体験が可能 蘭牟田池：アウトドアビギナー、家族向け自然体験 蘭牟田池：生態系保存施設アクアタイムの再生、活用 入来麓武家屋敷群の日本遺産登録 多様な文化遺産（入来神舞、東郷文弥節人形浄瑠璃） 多様な飲食店や温泉地があり、4町巡りも可能 グリーンツーリズム「農縁」、里山フットパスの人気 スポーツツーリズム（サッカー、グランドゴルフ等） ゴルフ人気の再燃 健康志向（まち歩き、里山フットパス、ジョギング、登山） 地域独自の健康食（フルーツ、野菜、ジビエ等） 地域限定の生業体験、人柄 マイカーで行ける観光（マイクロツーリズム） 地域特有のニッチな体験型観光 生業を活かした豊富な体験型メニューの構築が可能 生業を含めたスタンプラリー等による周遊観光 古民家や新規出店、既設店舗の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 認知度が低い、情報発信不足 案内やアクセス性の悪さ、選択と集中 ワイスコース（賢明な利用）の検討、ラムサール登録地との連携 体験施設の老朽化、アクティビティの充実 効果的な情報発信不足 宿泊施設、キャンプ場施設、飲食、売店の充実 専門スタッフを活用したPR、展示物のリニューアル 観光客誘致と生活圏との棲み分け、ラムサール登録地との連携 認知度が低い、後継者不足、期間限定 4エリア間の連携や情報発信不足、プラットフォームの構築 受入れ体制の構築、プラットフォームの構築 回遊性の高いツーリズム商品の開発、他ツーリズムとの連携 地域住民や他ツーリズムとの連携不足 認知度が低い、四季毎の情報発信不足 認知度が低い、四季毎の情報発信不足 コミュニケーション力、おもてなし場の確保 マイカーでしか行けない観光、公共交通網・タクシー不足 効果的な情報発信不足 昼だけでなく、夜の観光メニューが脆弱、宿泊観光の推進 賛同者、参画企業の確保 観光施策による生業の継承、民間資本との連携
外部環境：地域で変更することができないもの（例えば、景気動向や少子高齢化、法改正など）	
Opportunity（機会・チャンス）：プラス要因	Threat（脅威）：マイナス要因
<ul style="list-style-type: none"> ラムサール条約20周年（2025年）を迎える蘭牟田池への誘客 ポストコロナ対策、インバウンドの回復 ニッチな観光スポットを求める外国人旅行者 SNSによる集客、SNS映えを意識した仕掛け マイクロツーリズムによる観光の多様化（団体⇒個人） モノ消費からコト消費へ（趣味、嗜好に投資） 高付加価値、地域生業、体験型に移行 地域の特色を生かした体験型観光 アウトドア需要の増加 大河ドラマ：歴史等、戦国時代人気の高まり サイクルツーリズム需要の増加 都会から地方移住への増加（移住支援、ワーケーション） 近隣観光資源との接続、広域連携 農業や生業体験の人気（おてつ旅：お手伝い旅） 既存、公共施設のリニューアル（グリーンインフラの活用） Win-Winの関係性構築による民間資本の活用 企業版ふるさと納税やクラウドファンディングの活用 観光DX化への取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 競合自治体の出現（鶴の渡来地：出水市） 地域の受入れ体制、容量不足（過疎化、高齢化） 多言語への対応、外国人への地元対応、人材不足 SNSへの対応、情報セキュリティの確保 地域の受入れ体制の推進、情報発信不足 地域の生業体験への期待、若年層の旅行離れ 担い手不足、まちづくりへの積極的参加の減少 地方創生を目指した自治体間競争の過熱化、地域格差の拡大 オーバーツーリズム 観光ガイドの人材確保、育成 サイクルステーションの整備、レンタサイクル 地域の受入れ体制の推進、情報発信不足 情報発信、地域プラットフォームの構築 地域の受入れ体制の推進、情報発信不足 民間資本との連携 金融機関等の事業者の撤退 賛同頂ける民間投資家の確保、受入れ組織づくり DXに長けた人材の雇用及び教育、財源の不足

※3.13) SWOT（スウォット）分析：強味（Strength）、弱み（Weakness）、機会（Opportunity）、脅威（Threat）の頭文字から構成されたフレームワークのこと。この4つを組み合わせることで、経営戦略に役立つ。 <https://www.sprocket.bz/blog/20220523-swot.html>

第4章 東部区域の観光振興ビジョン策定

4.1 ビジョン策定の基本的考え方

多様に富んだ自然環境を生かした観光の推進と安全・安心で質の高い農畜産物の生産体制の確保により、東部区域の4つの地域でしか体験することのできない歴史・文化、アウトドア、地域住民の暮らしや生業（なりわい）に触れるとともに、ラムサール条約登録湿地や生物多様性の環境保全等も含め、当該区域に導入する際の基本理念を「行ってみたくなる誘いのことだま」や「地域間連携」の願いも込め、地域一体となって、以下のように定めます。

～ 基本理念 ～

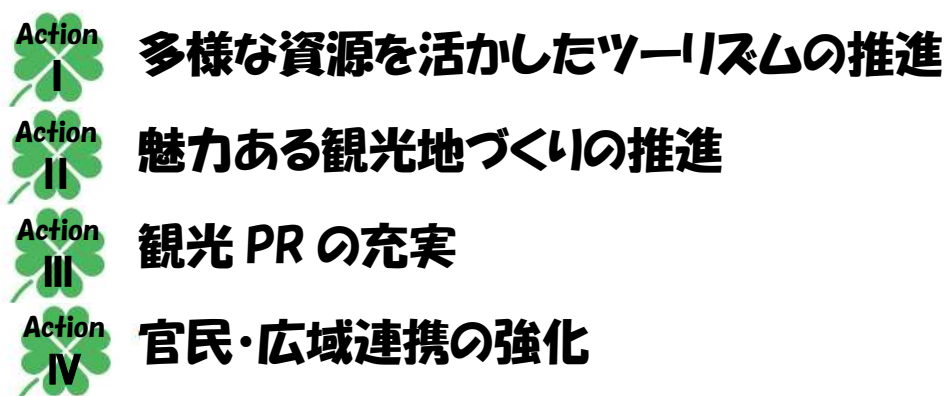
4つの地域で体感するしあわせの四重奏！
カルテット

- し** 仕事：地域の生業（なりわい）を体験
- あ** アウトドア：アウトドアビギナーや家族連れを対象とした拠点地
- わ** 輪：地域間連携（ネットワーク、プラットフォーム）の推進
- せ** 世代間交流：観光客誘致による地域世代間バランスの構築



4.2 具体的な施策

東部区域の観光振興ビジョンは、地域の既存資源を有効活用するとともに、既存の観光施策や上位計画とも合わせた新たな各種資源となり得る素材を洗い出し、「体験型を重視した旅行商品の提案」や、「地域からの情報発信の在り方」を整理し、「観光を主軸とした地域振興を図るための今後の取組みの課題とその解決策を図る」ことを目的とするものであり、解決策を図るため東部区域の4つの地域でしか体験することのできない、「行ってみたいくなる」具体的な施策について、以下の「4つのアクションプラン」を掲げ、目指す地域の姿の実現に取り組みます。



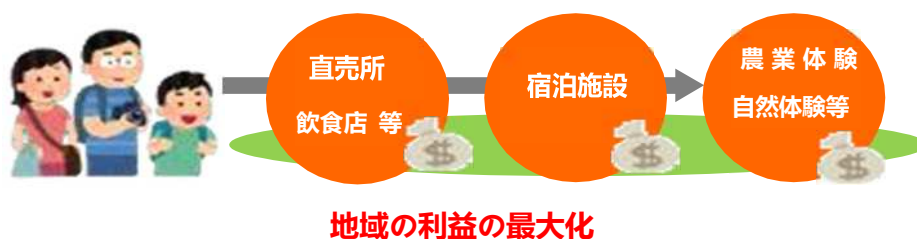
立ち寄りのみだと...

滞在時間：短 → 「通過型観光」 利益は限定・局所的



宿泊・体験コンテンツが充実すると...

滞在時間：長 → 「滞在型観光」



地域の利益の最大化

- ・ 地域全体で稼ぎ、持続可能なまちに
- ・ 多様な交流はリピーターを生み移定住へ

4.2.1 【Action I】多様な資源を活かしたツーリズムの推進

(1) 地域資源を活かしたメニュー開発

Action I -1

地域・県・市

グリーンツーリズム（GT）の推進

農業県にある鹿児島県にあり、本市の農業体験、自然や食を活かしたGTの取組みを推進します。

【主な取組み】

- ・年間を通じた農業体験メニューの開発・PR
- ・宿泊の推進（農泊、宿泊事業者）⇒農縁＋宿泊ツアー



タマネギの収穫



収穫した野菜でのピザ作り

Action I -2

地域・市

里山^{※4.1)}ツーリズムの推進（きゃんぱく）

東部区域に広がる里山エリアを「第2のふるさと」として、この区域ならではの日常や生業体験を通して、何度も通う旅・帰る旅という新しいスタイル（里山ツーリズム）を推進・定着させるとともに、地域が一体となって「稼げる地域」となることで、地域活性化を図ります。

【主な取組み】

- ・里山ツーリズム体験メニューの募集・PR
- ・里山ツーリズム定着化に向けた取組み



おくどさん体験（薪炊きご飯）



抹茶のスイーツ

※4.1) 里山とは、都市部と原生的な自然との中間に位置し、集落とそれを囲む農地・川・草地で囲まれた地域。また、里山ツーリズムとは、日常や行事等を活用し、観光客には地域固有の特別感を感じてもらふツーリズム。

Action I -3

スポーツツーリズムの推進

県・市

気軽に参加できる体験型スポーツ・アクティビティやスポーツ合宿等と地域内の観光スポットや物産館・食事処等の情報発信により、スポーツ等をきっかけとした観光誘客を図ります。

【主な取組み】

- ・ イベント会場等を中心とした地域の情報発信
- ・ イベント等主催者との連携による地産地消の取組み
- ・ スポーツ×観光スポット等で周遊観光を促す事業の展開



サッカー（丸山）



グラウンドゴルフ（樋脇）

Action I -4

アクティビティの推進

県・市

県立自然公園の藺牟田池登山・トレッキングコースや里山を活かしたフットパス、湖面を活用したボート・カヌー、天然の岩を活用したボルダリング（藺牟田ボルダラー）、愛宕山ビスタパークのパラグライダー体験等により、四季に応じた景観や生態系、アウトドアを体感できる誘客を図ります。

【主な取組み】

- ・ トレッキングイベント及びツアーの誘致
- ・ 里山フットパスの推進



トレッキング（藺牟田池）



フットパス

Action I -5

地域・市

地域の伝統・文化・祭りを活用したツーリズムの推進

市内各地に遺る歴史的な遺跡や文化、古くから語り継がれる伝統や、地域の特色ある祭りと観光を融合した取組みを展開します。

【主な取組み】

- 伝統文化・祭りの体験メニュー化
- 伝統文化を維持するための活動ツアー



東郷文弥節浄瑠璃



入来神舞

Action I -6

地域・市

魅力的な食事やお土産のPR、開発、促進

本市の特色ある食事や食材を活かした魅力的なお土産開発及び販売促進に向けた取組みを支援します。

【主な取組み】

- 食事処の紹介
- お土産の開発
- 物産販売所の充実
- 収穫体験やそれを使った料理教室



さとっこあげ



いむた池カレー



豆腐

Action I -7

県・市

クルーズ船を活用したインバウンドの推進

鹿児島港に寄港したクルーズ船観光客を誘致した、インバウンドに取り組めます。

【主な取組み】

- ・クルーズ運営会社、旅行会社等への営業活動



マリポート鹿児島



SAMURAI ツーリズム

(2) 教育旅行等の促進

Action I -8

県・市・地域・学校

教育旅行の受入れ体制整備

本市の豊かな自然や歴史などの体験・学習コンテンツを活かした教育旅行の受入れを促進するため、受入れ体制の整備を進めます。

【主な取組み】

- ・教育旅行の受入れ家庭・宿泊事業者拡大に向けた勧誘活動
- ・教育旅行向け体験・学習コンテンツの充実
- ・観光スポット周辺環境整備



入来麓歴史講座



蘭牟田池ラムサール

Action I -9

地域・市

ワーケーション※4.2) による新たな誘客の促進

新たな観光誘客の取組みにより、ビジネス観光による都市部と地方の融合による課題解決や親子で楽しめる親子ワーケーションにより、仕事と観光による誘客を図ります。

【主な取組み】



自分好みの場所や観光も楽しめるワーケーション

Action I -10

地域・市

ラーケーション※4.3) の開発・推進

親子で過ごす、学び+休暇での体験メニューにより、滞在時間の延長やリピーター獲得を図ります。

【主な取組】

- ・親子ラーケーションの商品開発及び販売



親子ラーケーション（学び+休暇）

※4.2) ワーケーション：「ワーク（Work）＝仕事」と「バケーション（Vacation）＝休暇」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地など、普段のオフィスとは離れた場所で休暇を楽しみながら働くスタイルのこと。 <https://www.atled.jp/wfl/article/18688/>

※4.3) ラーケーション：「ラーニング（Learning）＝学習」と「バケーション（Vacation）＝休暇」を組み合わせた造語。 <https://saita-puls.com/26452>

4.2.2 【Action II】魅力ある観光地づくりの形成

(1) 行ってみたい観光地づくり

Action II -1

地域・県・市

グリーンツーリズム（GT）の支援

農業を主とした交流体験事業により、交流人口拡大による関連産業の維持、人材育成を図りつつ、受入れ体制の構築を図っているGT協議会を支援します。

【主な取組み】

- ・年間を通じた体験メニューの開発
- ・GT協議会員の新規獲得



農産物加工や食する体験



家族で野菜収穫体験

Action II -2

地域・市

里山ツーリズムの支援（きゃんぱく）

里山での日常体験や商工業者等の生業を体験するツーリズムを支援します。

【主な取組み】

- ・里山ツーリズム体験メニューの募集・PR
- ・里山ツーリズム定着化に向けた取組み
- ・生業体験ツーリズムの募集・PR
- ・宿泊、もう1泊、もう1食になる魅力づくり



おてつ旅（生業体験）



お茶の収穫体験（蘭牟田）

Action II -3

地域・市

観光ガイドの育成

地域の魅力や特別感を伝えるガイドを育成します。

【主な取組み】

- ・体験による観光客の満足度が上がるガイドの育成
- ・ストーリー性のある案内ができるガイド育成
- ・自然公園ガイド、自然体験トレーナー等の育成



入来麓こどもガイド育成



市公認ガイド育成

(2) 誰もが訪れやすい観光地づくり

Action II -4

地域・県・市

インバウンド受入れ体制整備

外国人目線での観光案内機能の充実や、クルーズ船観光客の受入れ体制の整備を行うことにより、外国人も訪れやすいまちづくりを務めます。

【主な取組み】

- ・パンフレットの多言語化
- ・観光案内版の多言語化通信環境整備
- ・キャッシュレス決済導入支援



SAMURAI ツーリズム

Action II -5

地域・県・市

二次アクセスの利便性向上

観光客が安全で快適に移動できるように、二次アクセスの利便性向上に向けた情報発信や観光拠点間の移動手段の確保に取り組めます。

【主な取組み】

- 交通結節点における観光情報の発信
- 既存路線バス等の接続性の改善
- ゲートウェイ^{※4.4)}からの二次交通の導入検討
- 新交通システムの導入検討（DX化）



美らまーい（1人乗りEV：沖縄県）



無人EV乗合カー

※4.4) ゲートウェイとは、広義には「門のある道」であり「玄関」や「入口」を意味する言葉。ここから転じて、異なる交通ネットワーク（航空路・航路・道路網・公共交通網等）同士をつなぐ機能を指すこともある。

4.2.3 【ActionⅢ】観光 PR の充実

(1) 県内外からの誘客強化

ActionⅢ-1

地域・市

情報の収集・発信

賑やかなまちを発信するため、行政の横断的な取り組みにより地域団体・市民・事業者等から交流人口拡大につながる情報を集めた WEB サイトに集約・掲載し、用途やターゲットによって発信ツールを活用した情報発信に取り組みます。

【主な取り組み】

- ・観光 DX 化へ向けたプラットフォームの構築と人材育成
- ・地域住民や観光客への浸透が容易なツールの開発・提供



携帯端末を活用した情報の収集・発信（DX 化：プラットフォームの構築）

ActionⅢ-2

地域・市

効果的なプロモーションの実施

ホームページや SNS、各種メディアを活用し、自然や食、歴史などの魅力的な観光資源の効果的なプロモーションを行い、本市の認知度向上を図ります。また、ターゲットエリアの旅行会社への営業活動により、本市へのツアー誘致に努めます。

【主な取り組み】

- ・SNS やマスメディア等で配信する効果的な動画の作成
- ・全国版の体験型観光等の情報誌を活用した取材と掲載



薩摩川内市のプロモーションビデオ

ActionⅢ-3

地域・市

イベントによる誘客強化

集客力のあるイベントや地域資源を活用したイベントの支援により、本市の認知向上及び本市への誘客を図り、その周辺への周遊観光を図ります。

【主な取組み】

- ・ イベントの継続。拡大
- ・ 参画する企業の誘致と Win-Win の関係性構築



市比野よさこい祭り



蘭牟田池マルシェ

ActionⅢ-4

地域・市

シティセールスの推進

本市の認知度・知名度向上を図るとともに、関係人口の増加を目的に、関係機関と連携したシティセールスの取組を推進します。

【主な取組み】

- ・ シティセールスサポーターによる情報発信
- ・ 観光大使・観光親善大使を活用したPR
- ・ 郷土会と連携した若者へのPR
- ・ 教育機関と連携した若者へのPR



観光大使を活用したPR

ActionⅢ-5

国・県・市

ゲートウェイからの誘客強化

川内駅、鹿児島空港や鹿児島中央駅などの県内交通結節点における効果的な情報発信を行うことにより、本市への誘客強化に取り組みます。

【主な取組み】

- ・交通結節点における観光情報の発信



鹿児島空港



川内駅改札前

ActionⅢ-6

地域・市

ふるさと納税の推進

ふるさと納税制度を通じて、本市の特産品を全国に発信し、地域の産業振興・活性化を図ります。

【主な取組み】

- ・ふるさと納税制度の効果的な運用
- ・新規事業者の掘り起こし



4.2.4 【ActionIV】官民・広域連携の強化

(1) 地域事業者との連携の推進

ActionIV-1

地域・市

(株) 薩摩川内市観光物産協会等との連携強化

持続的な観光推進や新たな観光発展の可能性を創出するために、地域 DMO である観光物産協会や地域事業者との連携を強化し、推進に向けた推進体制を構築します。

【主な取組み】

- ・観光物産協会との定期的な情報交換
- ・旅行商品開発のアドバイス
- ・地域づくりのサポート



ActionIV-2

地域・市

稼ぐ観光地づくり

観光消費額の増大を図るため、観光物産協会をメインとし観光事業者・特産品事業者と連携し、稼ぐ観光地づくりを行います。

【主な取組み】

- ・観光に携わる人材の育成
- ・市内観光事業者の受入機運の醸成
- ・観光関連施設の環境整備支援
- ・物産販売所の充実
- ・地場産品や土産品の磨き上げ



ネイチャーツアー、カヌーツーリング



蘭牟田池外輪山登山・フットパス

(2) 広域観光の推進

ActionIV-3

県・市

北薩地域一体となった誘客促進

北薩地域で連携した事業を実施することにより、広域のスケールメリットを生かした観光誘客を推進します。

【主な取組み】

- ・北薩摩振興推進協議会



県立北薩広域公園



出水の鶴（ラムサール条約登録湿地）

ActionIV-4

国・県・市

川内川水系かわまちづくり推進協議会、いちき串木野市等との連携

広域のスケールメリットを生かした人材発掘及び育成やプロモーションにより交流人口の増加、産業振興等を図ります。

【主な取組み】

- ・SNS等を活用した情報発信
- ・ターゲット誘客に向けた旅行関係者への営業活動
- ・観光地域づくりのマネジメント（企画・働きかけ・情報発信）



川内川水系かわまちづくり推進協議会との連携



いちき串木野市との連携

具体的な先行事業

Plan 1 年間イベントカレンダー作成

- 地域内のイベントを集約したカレンダーによる情報発信
- Google の活用により、周辺の食事処等も検索できるようにする。

Plan 2 スポーツ、イベント参加型スタンプラリー

- スポーツやイベント参加＋観光スポット（SNS 投稿）＋食事 or 物産購入

Plan 3 フォトコンテスト

- Instagram#キャンペーン（春夏・秋冬、特産品プレゼント、カレンダー）

Plan 4 きゃんぱくの強化

- 生業コンテンツの開発（きゃんぱくで副業化へ）
- ヘルスツーリズム（収穫体験等＋地産地消の健康食＋温泉＋朝散歩）
- 親子ワークショップ

Plan 5 グリーン・ツーリズム農緑×宿泊プラン

- 旅館・ホテル等との連携（地産地消の食事ができるか？）
- PM 到着→体験→料理体験＋食事→宿泊→朝食→体験→帰宅

Plan 6 フットパスの開発・情報発信

- 里山、自然の中の散歩、山歩きコース

Plan 7 歴史ラーニングツアー

- ガイドと巡る歴史・文化ヒストリー（入来麓、山城、田の神）、地元メシ
- 伝統芸能鑑賞・文化継承ツアー

4.3 ビジョン展開のステップ

アクションプランの取組方針である「4つのアクションプラン」は、期間、内容、地域や行政等の関わり方に応じた図4-1に示す「3つのステップ」で発展させていきます。

また、東部区域での取組みは、各地域が繋がり、薩摩川内市全域及び川内川流域や、近隣市町も含めた広域連携を視野に入れた観光振興を展開するためのモデルとし、「地域の自然や生業と共に生きる」新たな地域づくりの取組みへと繋げていきます。

(イメージ 図4-2)

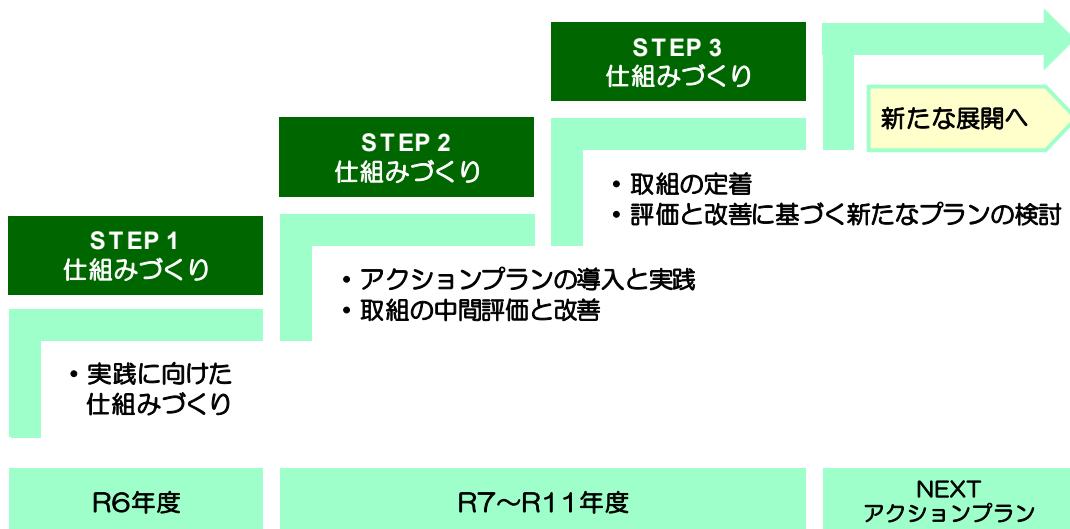


図4-1 プラン展開のステップ図

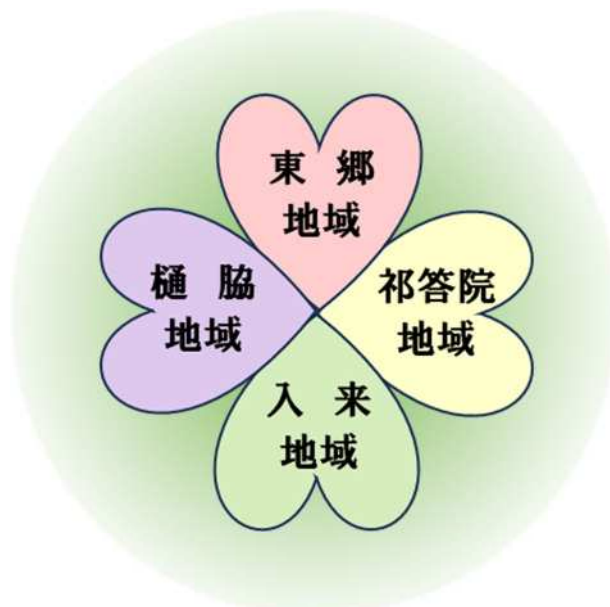


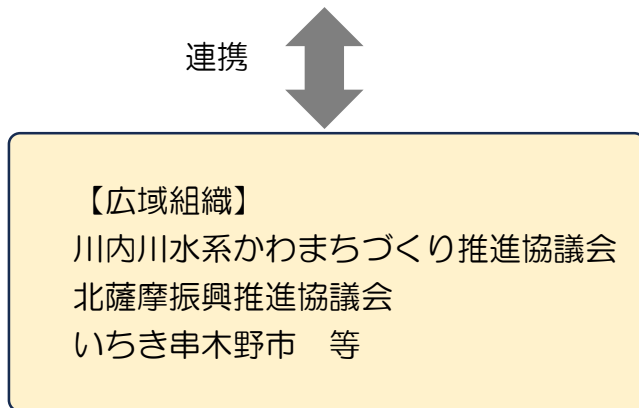
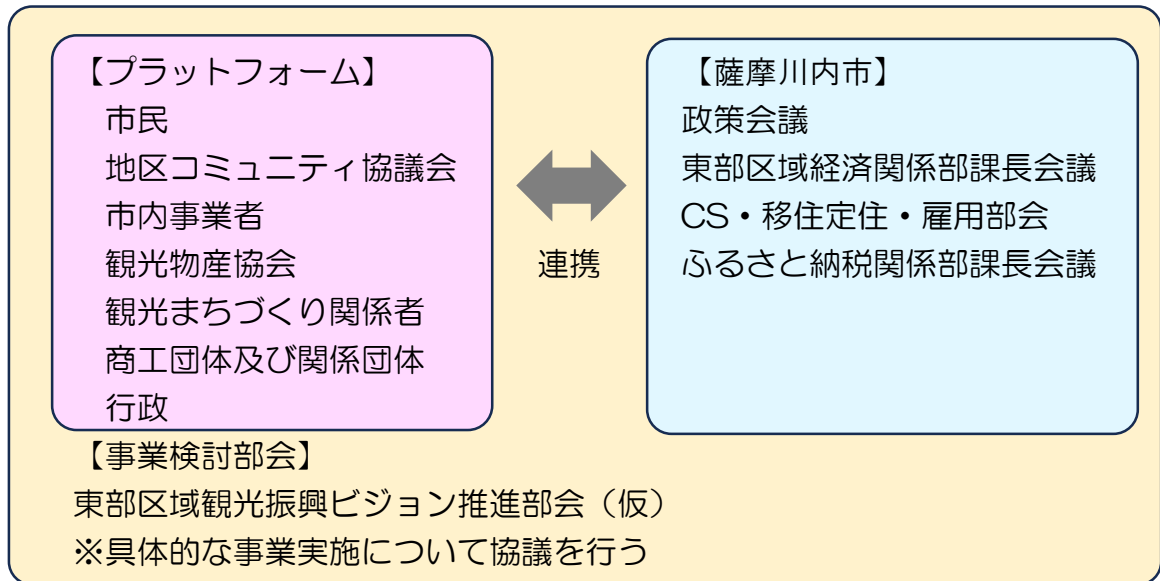
図4-2 東部区域からの広域的な展開

第5章 推進体制

本ビジョンを推進していくためには、公民連携や広域連携及び政策間連携など、様々な連携が必要です。

また、人口減少や少子高齢化など社会情勢や地域事情の変化に柔軟に対応していくことも求められています。

このようなことから、下記に示す推進体制を構築し、持続可能な観光施策について事業展開を進めることとします。



地域のちからプロジェクト
 「市比野温泉活性化協議会」



地域のちからプロジェクト「東郷未来会議」



地域のちからプロジェクト「入来未来会議」